

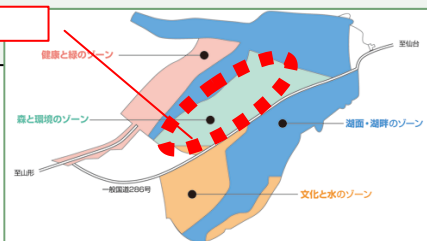
「里山地区」とは？

みちのく公園「里山地区」は、公園区域中央、釜房湖に突き出した部分にある雑木林とスギ・ヒノキなどの植林地で構成された里山です。

「人と自然のふれあい」をメインテーマとして、平成26年春の開園を目指しています。これまで、ツリーハウスづくり、樹林地管理や観察会など、さまざまな活動を行ってきました。

今年度は、開園を目指して、「里山遊び塾」・「里山育て塾」・「里山発見塾」の3つの活動を行っていきます。

里山地区



これまで平成25年度の継続メンバーによるプレ活動を行ってきましたが、6月29日に新年度ガイダンスを行い、7月からは平成26年度活動として正式にスタートしました。

今後は、「里山遊び塾」を月2回、「里山育て塾」・「里山発見塾」をそれぞれ月1回のペースで毎週活動を行っていきます。まずは、すべての活動に先立って、普通救命講習を受講しました。

普通救命講習

7月6日（土）曇り

普通救命講習では、心肺蘇生法やAEDの操作方法など基本的な知識の他、止血などの応急処置、けが人の搬送方法などの里山の活動に必要な実践的な内容も学びました。

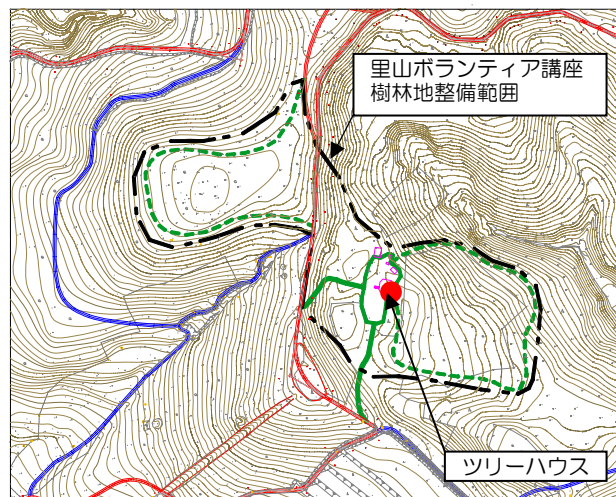


里山育て塾

7月6日（土）曇り

普通救命講習の後、午後からは、里山育て塾の第1回目の活動を行いました。

今回の活動は午後から2時間程だったため、これから行う活動の範囲と内容について現地を歩きながら参加者どうし、話し合いを行いました。



里山遊び塾

7月13日（土）曇り

今回は、ツリーハウス周辺に資材を搬入する時に使う作業路整備、ササ刈り、製材作業を行いました。



今年度から2カ月に1度「寄り合い」という全講座の参加者が集まる話し合いの場を設けることにしました。

寄り合いでは、今後の活動計画などについて話し合います。

また、アウトドアクッキングを行い、みんなで昼食を取ることで、普段会う機会の少ない他の活動の参加者とのコミュニケーションを図ることも目的の1つです。



7月27日（土）雨のち曇り

この日は、集合時点で雨が降っていたため、ひとまず里山遊び塾の今後の活動について話し合いをしました。

雨がほぼやんだところで、活動場所に移動し、スギの皮むき、小屋づくりなどを行いました。



里山発見塾

7月20日（土）曇りのち晴れ

里山発見塾1回目のテーマは「夏の動植物の観察」。

里山を散策し、インタープリテーション研修の初級編として、「参加者がそれぞれ気に入った対象のスケッチを描き、その対象を他の人に当ててもらおう」という研修を行いました。

午前中に散策とスケッチを行い、午後、スケッチを交換し、同じように里山を散策して、対象を探します。対象を見つけてもらえるか、みんなドキドキ。無事、全員の対象を発見し、自分がスケッチした対象の特徴と気に入った理由を発表して終了しました。

